９　　七月七日　　　　　　　　　　　　　　　　文法　終止形接続の助動詞②

世の中に長恨歌といふふみを、物語に書きてある所Ⅰあんなりと聞くに、アいみじくＡゆかしけれど、え言ひ寄らぬに、イさるべきたよりを尋ねて、七月七日いひやる。

Ⅱちぎりけむ昔の今日のＢゆかしさにあまの川波ウうち出でつるかな

返し、

　　たちいづる天の川辺のＣゆかしさにつねはゆゆしきこともエわすれぬ

【本文チェック】

①　ア～エの用言の、活用の種類（動詞は活用の行も）・文中での活用形を〔　〕に書きなさい。

　ア（　　　　　　活用　　　形）　イ（　　　　　　活用　　　形）

ウ（　　　　　　活用　　　形）　エ（　　　　　　活用　　　形）

②傍線部Ⅰ・Ⅱを現代語訳し、（　）に書きなさい。

Ⅰ（　　　　　　　　　）

Ⅱ（　　　　　　　　　　　　　　　）

③二重傍線部Ａ～Ｃはすべて何かに心ひかれる心情を表す。この中から、その対象が異なるものを一つ選んで記号に〇をつけなさい。

Ａ・Ｂ・Ｃ

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

１　え～ず〔２〕　　 ①（～　　　　　　　）

２　ゆゆし〔５〕 　　①（　　　　　）

　 　　　　　　　　　②たいへん

　 　　　　　　　　　 ③すばらしい

問２　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　物のゆかしければ、物見にしありきければ、所々見行きけり。　（宇治拾遺物語）

ア　見たい　　　イ　美しい

ウ　不思議な　　エ　由緒のある

（　　　）

２　そのわたりの山がつまでさるべき物どもひ、御などしてでたまふ。

（源氏物語）

ア　そうなるはずの　　イ　ふさわしい

ウ　避けるべき　　　　エ　立派な

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の傍線部の助動詞の、文法的意味と文中での活用形を答えよ。

１　世の中に物語といふもののあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ、（更級日記）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

２　少しおぼえたるところあれば、子なめりと見給ふ。（源氏物語）

文法的意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

問４　次の傍線部の現代語訳として適当なものを、後から選べ。

１　人々の声あまたして来る音すなり。（宇治拾遺物語）

ア　するのだろう　　イ　するようだ

ウ　するのだ　　　　エ　するはずだ

（　　　）

２　この世に生まれては、願はしかるべき事こそ多かめれ。（徒然草）

ア　多かった　　　　イ　多いことよ

ウ　多いだろうに　　エ　多いようだ

（　　　）

３　われのみならず、年ごろのところにも絶えにたなりと聞きて、　（蜻蛉日記）

ア　きっと途絶えるだろう　　　イ　途絶えてしまったはずだ

ウ　途絶えてしまったらしい　　エ　途絶えていただろうに

（　　　）

問５　次の傍線部のうち、伝聞・推定の助動詞であるものを一つ選べ。

ア　三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。（竹取物語）

イ　男もすなる日記といふものを、（土佐日記）

ウ　十三になる年、のぼらむとて、三日して、（更級日記）

エ　世界のをのこ、あてなるもいやしきも、（竹取物語）

（　　　）

【古典常識】

問６　『更級日記』の作者であると最も近い時代を生きた人物を、次から一つ選べ。

ア　和泉式部　　イ　紀貫之　　ウ　藤原定家

エ　阿仏尼　　　オ　橘成季

（　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝シク活用・連用　　イ＝ラ行変格・連体

　　ウ＝ダ行下二段・連用　エ＝ラ行下二段・連用

②　Ⅰ＝あるそうだ　Ⅱ＝誓ったとかいう

③　Ｃ

問１　１＝できない　２＝不吉だ

問２　１＝ア　２＝イ

問３　１＝伝聞・連体形　２＝推定・終止形

問４　１＝イ　２＝エ　３＝ウ

問５　イ

問６　ア

【現代語訳】

問２　１　いろいろなものを見たいので、見聞して歩き回り、あちこち見歩いた。

２　（光源氏は）そのへんの木こりにまでふさわしい品物をお与えになり、（僧には）御誦経のお布施などを置きなさってお立ち出でになる。

問３　１　世の中に物語というものがあるということだが、（それを）なんとかして見たいと思い続けて、

２　少し似ているところがあるので、（尼君の）子であるようだと（源氏は）見なさる。

問４　１　人々の声が大勢で来る音がするようだ。

２　この世に生まれたからには、（こうあってほしいと）願いたいことが多いようだ。

３　自分だけでなく、長年通うところにも（訪れが）途絶えてしまったらしいと聞いて、

問５　ア　（身の丈が）三寸ほどである人が、たいそうかわいらしく座っている。

イ　男の人も書くという日記というものを、

ウ　十三歳になる年、上京しようとして、九月三日に門出をして、

エ　世の中の男は、身分が高い人も身分の低い人も、

問６　菅原孝標女は平安時代中期の人。各選択肢の人物の代表作と時代は次のとおり。ア『和泉式部日記』平安中期、イ『土佐日記』平安前期、ウ『新古今和歌集』鎌倉前期、エ『十六夜日記』鎌倉中期、オ『古今著聞集』鎌倉中期。